



# さくらの若水

## ☺「THE・社会人に聞く」で何を聞いた？☺

5月22日(月)「THE・社会人に聞く」と題し、各分野で活躍する社会人の方に仕事について、人生の先輩として「生き方」について語っていただきました。この取り組みは、6月におこなわれる職業体験学習の事前学習の一環であるとともに、みなさんが自分の人生を考える上で、少しでも役立ててもらえればと企画しました。あなたは人生の先輩からのメッセージを、どのように受け止めましたか？



～講師先生の感想から～

- ・目を見てしっかりと話を聞いてくれるので、こちらも勉強になりました。
- ・生徒さんは手際よく、器用な子が多かったと思います。
- ・非常にまじめで礼儀正しい印象を受けました。仕事の具体的なイメージを伝えるのが難しかったように感じました
- ・中学生の考える弁護士生活と実際の生活の違いを見つけていただけたと思います。中学生の頃より将来の進路を良く考えているようでした。
- ・一生懸命聞いていただけたので良かった。明るく元気が良かった。

## ◇泣いて、笑って、マダガスカル◇

5月20日(土) JICA(青年海外協力隊)の一員として活躍された、四日市市出身の山田葉子さんからお話をいただきました。以下は、その感想用紙からです。



マダガスカルには「ザペンギンズ」や「マダガスカル」といった面白い映画のイメージしかなかったけれど、毎日薪を拾いに行ったり、水を汲みに行ったりしたり、米も十分に食べられず、芋ばかり食べているような生活をしているのだと知りました。遠く離れた日本からボランティアとして村の人たちのためにかまどの作り方を考えて普及していく活動をされたことを知り、私もそういう活動をしてみたいと思いました。いろいろな人を笑顔にできるこの活動をもっとたくさんの方ができれば良いと思いました。(K)

私も青年海外協力隊に入りたいと思いました。山田さんがとても苦労されたこともわかったし、村人と踊ったり、歌ったりして楽しそうだとも思いました。いつもと違う日常があって、一生忘れない思い出になると思います。また、他人のために全力を注ぐ、山田さんの考え方がとてもすてきだと思いました。私も人生の中で一度でも全力を注げる人間になりたいです。そして今の私は水や食べ物を自由に手に入れることができますが、世界にはそれができない子どもたちがたくさんいます。これからの生活で1日1日を大切に、たくさんの人を笑顔にできるような人になりたいです。(S)

まず、葉子さんは充実した生活を送っていたのに、途上国のことを思うことがすごいと思いました。そのために青年海外協力隊を受検し、難関をクリアしていったこともすごいです。発展途上国を思いやる気持ちがいっぱいあるのだと感じました。シャワー室にはびっくりしました。水道が繋がっていないので水を汲まなければいけません。料理も泥水でおこない、主食の米はめったに食べずキャッサバ等の芋ばかりだそうです。日本ではあまり考えにくい生活です。外国人と避けられていましたが、苦労してKAMADOという贈り物をして帰国しました。貧しい国のためにがんばりすごいです。(U)

最後にマダガスカル語の一つを紹介します。「みそーちゃー」。お味噌とお茶ではありません。「ありがとう」という意味だそうです。